

おたふくかぜ

おたふくかぜ（流行性耳下腺炎・ムンプス）ってどんな病気？

おたふくかぜの主な症状は、耳の下、頬の後ろ側、あごの下など耳下腺部または顎下腺部の腫れです。両側が腫れることが多いですが、片方だけのこともあります。合併症としてまれに髄膜炎や難聴

を起こすことがあります。思春期および成人男子がかかると睾丸炎を起こすこともあります。

おたふくかぜの約3分の1は、症状の出ない不顕性感染といわれています。

接種を受ける時期と間隔は？

●対象者年齢

1歳を過ぎたら、年齢と関係なく接種を受けることができます。かかりやすい年齢は4～5歳なので3～4歳ごろの接種が適当ですが、保育園、幼稚園等の集団生活に入る前がよいでしょう。

●回数

1回の皮下注射

おたふくかぜワクチンの副反応は？

●接種2～3週間後に耳の下が軽く腫れることがあります。6,000～8,000人に1人は無菌性髄膜炎にかかることが

ありますが、自然感染した場合と比べればとても少ない頻度です。

●接種日メモ

